

上天草市立小学校 令和6年度保護者学習会

もうすぐ ピッカピカの小学1年生



・学校での勉強が
楽しくなるために、
今から何をしておけば良いの？



- 入学に向けてあと半年となりました。
- そこで、「保育園での活動」とは違う「小学校での学習」が始まる前に、
- 今の時期に大切な“子育ての工夫”を考えてみました。
- 色々あると思われませんが、
- 【小学校1年生のお勉強が楽しくなる】
ために今できる子育ての工夫を、私から**一つだけ**お願いさせて頂けるとすれば、





保育園では
あまり必要
なかったけれども、

入学すると
クラスという**集団**の中で
文字を使って考える『学習』が始まります。

「そのために必要な力」とは何でしょう？

それは、、、**「おしゃべりの言葉」と「読み書きの言葉」**を
つなげる力が育っていることが大切なのです。

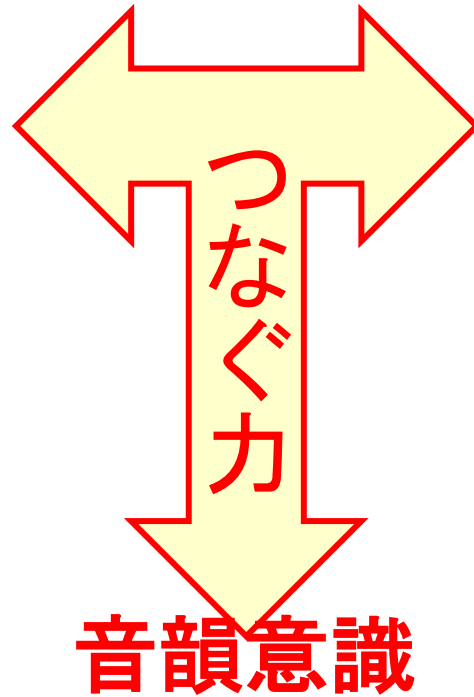
学校や保護者から相談される 小学校1年生の最近の傾向

- 年長の頃からたくさん言葉も知っていて、おしゃべりはとても上手なのに。
- 年長になって『ひらがな50音』を、すこしずつ練習していたのに・・・。

入学後に

- 『ひらがな50音表』で、どれが『あ』か言い当てられるのに、
 - 音読は何とか出来ても、文章に書いている内容が分かっていない。
 - 頭に浮かんだ「自分の考え」を、ノートに書こうとすると固まってしまう。
-
- といった不思議な相談が、10年前と比べてとても増えてきました。
 - ⇒これは、子ども達が怠けたり気分が乗らない訳ではないのです。

「耳で聞く話し言葉（会話）」



「読み書きの言葉（文字）」

おんいん

音韻意識が弱ければ、「お話は上手」だけれども、
「読み書き」で困ってしまいます。

- 「音韻意識」が育ってないと読み書きで困る??
 - 何それ???? どういう意味????



- 「え~~~~! (; °Д°)」
- いま 50音表を使って、「あ」「い」・・・
「お」を、頑張って教えていたのに!
- それじゃ、ダメなの??
- そもそも、私が子どもの頃には、「音韻」なんて聞いたこともなかったよ! なんなのよそれ~

「言葉の育ち」の順番

言葉の育ちは、
最初は、**実物を見て**
その言葉の「音」と「意味」が
分かるように
発達していきます。

リンゴ食べる？

あの
「りんご」を食べる
かどうか聞かれて
いるんだな



やがて、言葉の育ちは、

実物を見なくても

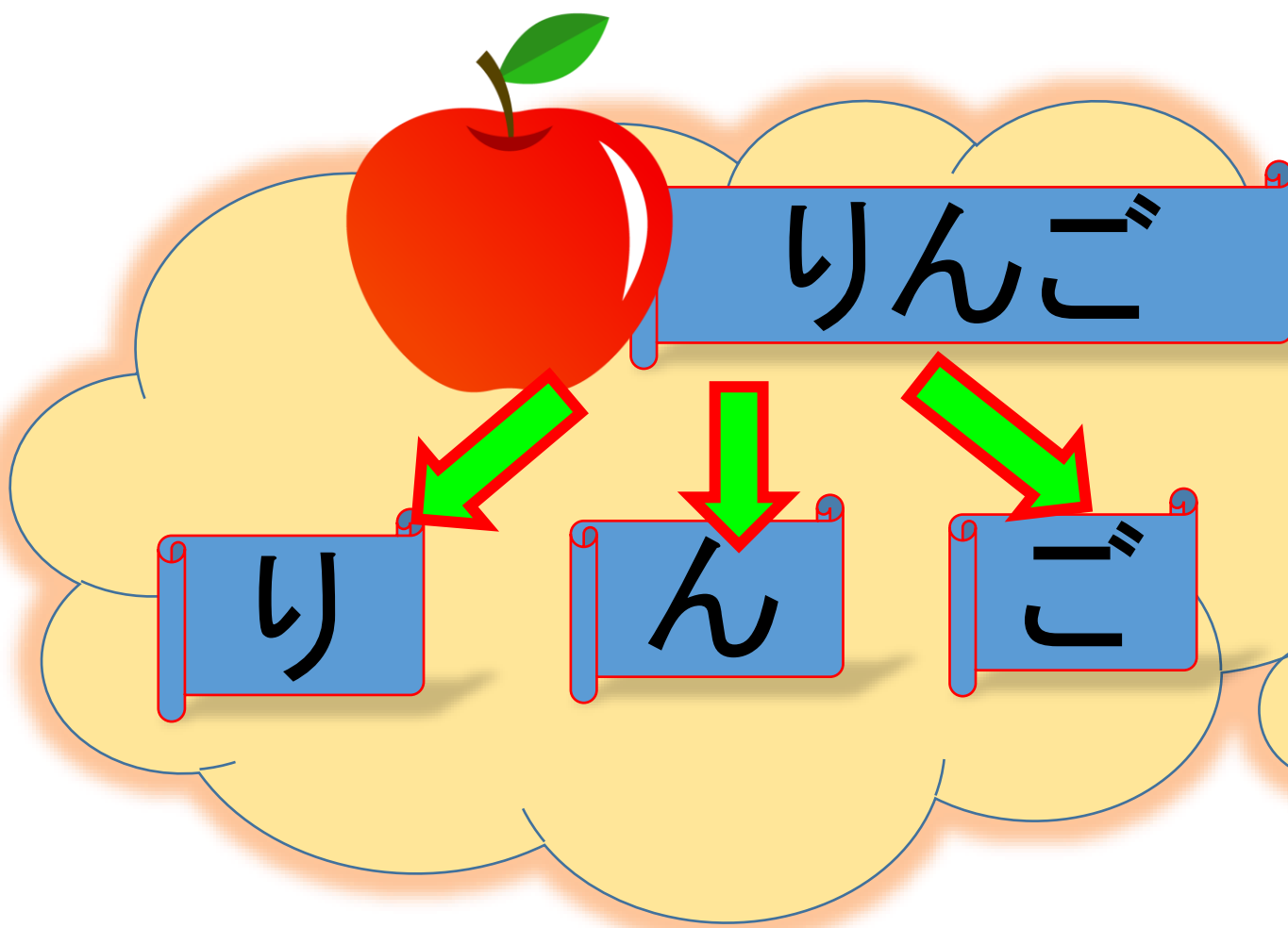
その言葉の意味を話し言葉から
分かるようになる。「**会話**」へと
発達していきます。

リンゴ食べる？

うん、
食べる！



「話し言葉」は大人とのやり取りを通して、個人差がありつつも「会話」で発達していきます。



りんご



音韻意識が育ちます。
5〜6歳で

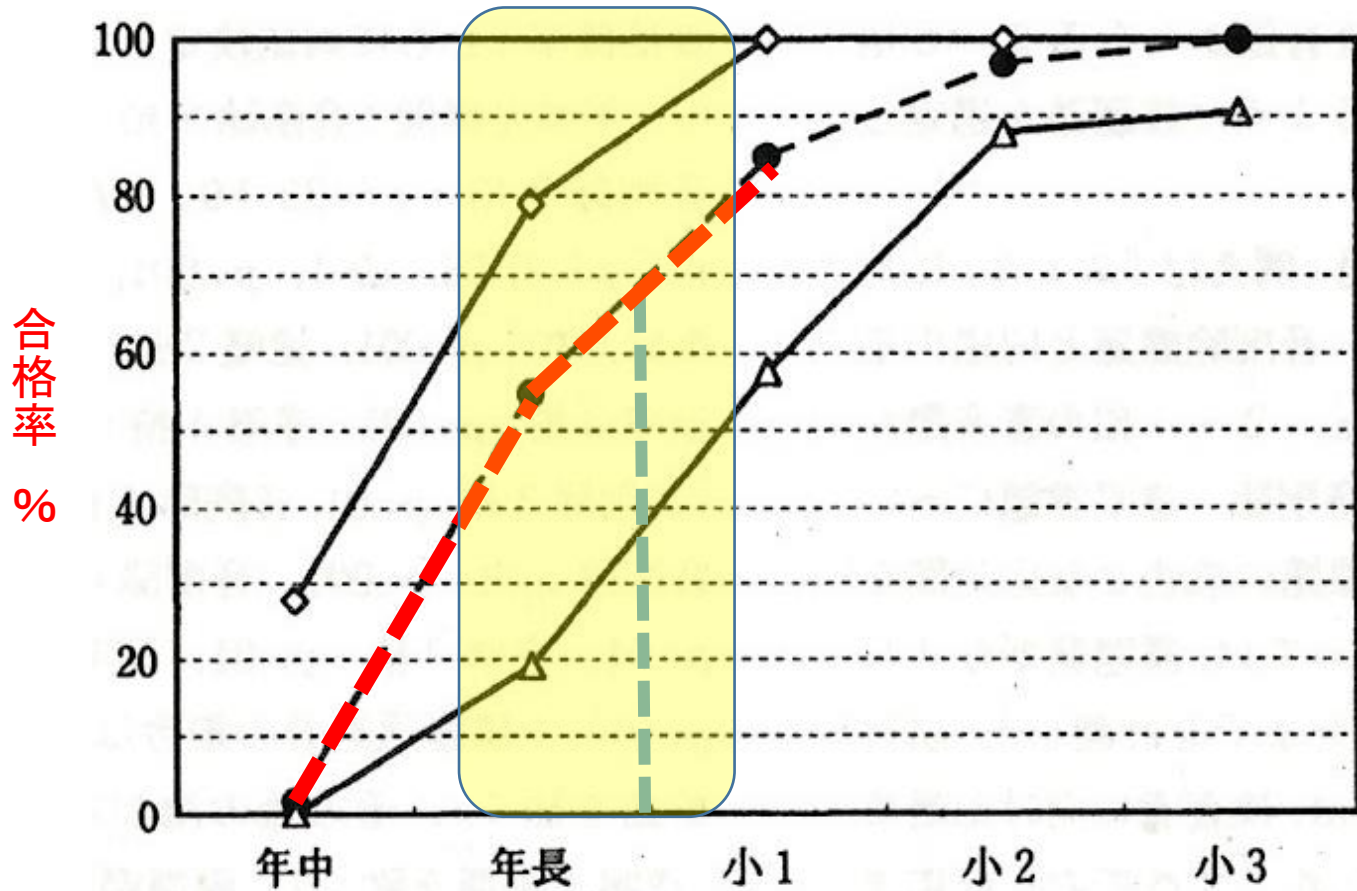
- 5〜6歳頃になると、「りんご」と聞いた言葉が、
- 「り」・「ん」・「ご」に分けられて、その順番も意識できるようになり、**会話のことばがこ・と・ば（50音）の集まりだと分り始めます。**

音韻意識が発達する時期は

専門機関での研究結果

◇ 2拍
● 3拍
△ 4拍

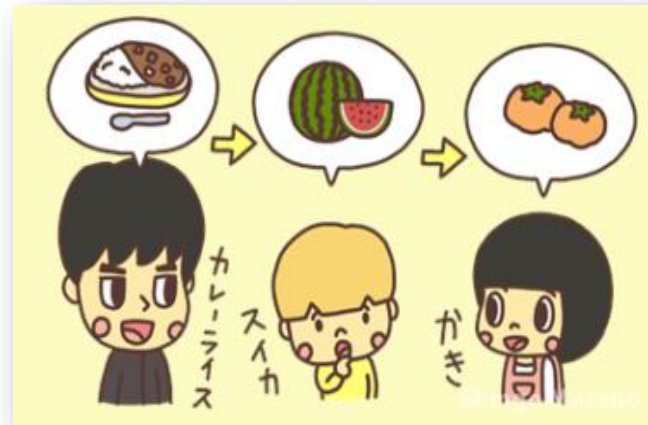
「逆さま言葉」が言えるかどうかで音韻意識を検査しました。
(5問中3問正解で合格としました)



- 年長さんの時期に音韻意識が急激に発達します。
- 6歳半頃で3文字の「逆さま言葉」の合格率は65~70%

・小学校で文字を使った学習を楽しめる基準とされています。

- 私達の世代では、「音韻意識」は特に練習しなくても周囲の大人や年長児との言葉遊びを通じて身につけていました。
- しかし、「音韻意識」は音韻に気づく言葉遊びを通して“気づける”のであって、“普段の会話さえできれば自然と身につく”というものではありません。



資料参照:子どもの遊びポータルサイト ミックスじゅーちゅ

書くのではなく並べて遊ぶ

資料参照:ほいく IS

言葉遊びを通して、年長さんのころには音のまとまりをバラバラにできるようになる。

- 言葉遊びを十分することで、「かえる」という言葉を聞いた時に、『か』『え』『る』と一つずつ分けられるようになります。

「かえる」



「か」

「え」

「る」

- さらに、入学後に「50音」の**文字**を学習することで、「個々の**音**に対応する**文字**がある」ことに気づくようになります。

音

「か」


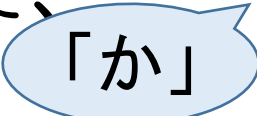
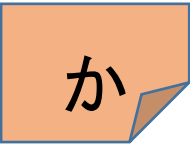

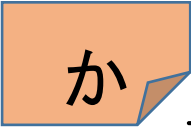

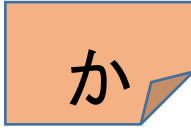


か

文字

音韻意識が身につくことで、

「音の言葉」を「文字言葉」に変えることが出来るのです。

- 「かえる」  が、「か」「え」「る」だと認識することが出来ることで、
- 「かえるの  」といわれて、最初の文字が  か
- やがて、 「いるかの  か」と  「かえるの  か」が同じものだと分かってきます。
- 音韻意識が身に付く事で、書きたい時に書きたい文字が、スラスラと頭の中の『文字言葉』から引き出すことが出来るのです。

音韻意識は「言葉の記憶」の育ちにも影響してきます。

- 自分の言った言葉の音韻がわかることで、トウモ□コシをトウモ□□シと言い間違えても、その言葉（音）を自分の耳で聞き取り、□コシと□□シの違いに気が付きます。
- やがて「正しい言葉の記憶」に繋がっていきます。
- 年中さんはまだ音韻意識が未熟なので、トウモ□□シと言っても気が付けないのです。（となりのトトロにミーちゃん）



スタジオジブリ となりのトトロ

- 音韻意識の発達には、正確に音声言葉を覚えておくことを助け、言葉の習得や正確な理解につながるのです。

就学時健診における「さかさま言葉（音韻意識）」検査と、その回答結果の例

楽しく「読み書き学習」
が出来ます。

音韻検査 〇(3/5)

練習		ねこ				
	2モーラ	評価	3モーラ	評価	4モーラ	評価
逆唱課題	いぬ	〇	つくえ	??	しまうま	
	やま	〇	たいこ	〇	ゆうやけ	
			かえる	〇	にわとり	
			いちご	〇		
			じかん	んかん		

3音のさかさま言葉が
5問中3問以上正解

おいしいです！
音韻意識の芽生えがある。

音韻検査 ✓

練習		ねこ				
	2モーラ	評価	3モーラ	評価	4モーラ	評価
逆唱課題	いぬ	〇	つくえ	えつく	しまうま	
	やま	〇	たいこ	〇	ゆうやけ	
			かえる	るかか	にわとり	
			いちご	...		
			じかん	/		

3音のさかさま言葉で
「えつく」が「え」「つ」「く」になっている

読み書き学習が苦手になる
音韻の遊びをたくさんしよう

音韻検査 ✓

練習		ねこ				
	2モーラ	評価	3モーラ	評価	4モーラ	評価
逆唱課題	いぬ	〇	つくえ	...	しまうま	
	やま	...	たいこ	/	ゆうやけ	
			かえる	/	にわとり	
			いちご	/		
			じかん	/		

3音のさかさま言葉が
一つも言えない

- 年長さんの頃の子育て（言葉遊び）の中身が、10年前と少し変わってしまうと入学後の「読み書き」で子どもが困ってしまうかも。

- とすれば、子どもが頑張るのではなく、大人が気づいてあげて、大人が関わりを工夫してあげなけきゃいけないんだ！

- **でも、けっして「さかさま言葉」の特訓をするのではありませんよ。**

- とすれば、何をすればいいの？

大変だ！！！！



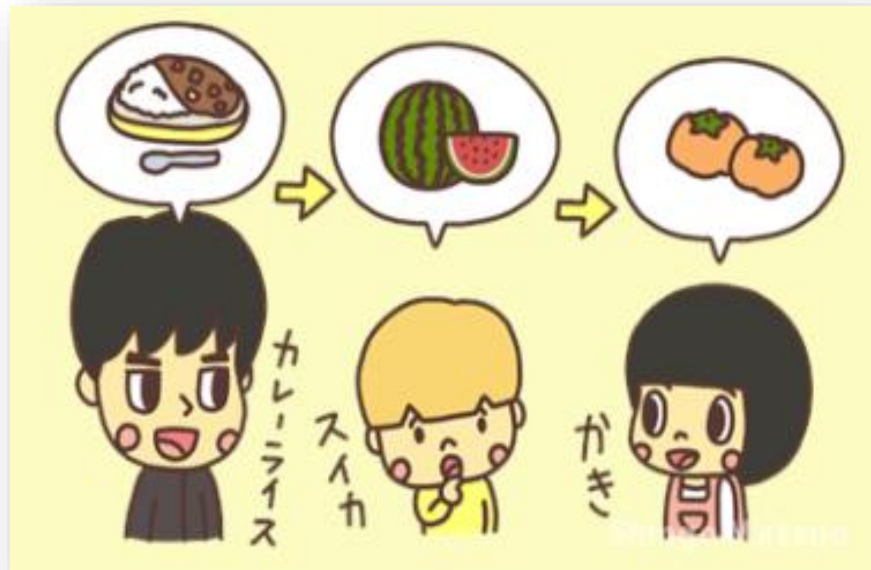
なにも特別なことをするのではありません。

私たちが小さい頃に楽しんだように、
言葉遊びをお子さんと楽しんで頂ければと思います。

- 「音韻意識」の専用アプリや学習ソフトは、あまり見たことがありません。
- では、どんな言葉遊びで「音韻意識」を育てることが出来るのでしょうか？

「言葉遊び」のいろいろ。

しりとり



資料参照: 子どもの遊びポータルサイト ミックスじゅーちゅ

言葉の数だけ おはじきを並べよう



「“かえる”の言葉の数はいくつ？」や、「1番目の言葉は？」
「2番目の言葉は？」

1番目は、かえるの「か」だよ。





それぞれのお子様の育ちには、
それぞれのペースがあります。

「音韻意識」に関する「子どもの育ち」
なので、どの子も同じペースで育つ
ものではありません。

「音韻意識」が
「入学までに育っていなければ絶対困る。」
という事ではなく、
「音韻意識」が育つ言葉遊びを、
今からでもすぐに始めることが大切なのです。

学校のお勉強が楽しくなる
大切な「育ち」ですから♡

就学までの親子の楽しい時間に
音韻意識を育てるための「言葉遊び」を
取り入れていただければと思います。

ご清聴ありがとうございました。

• **参考文献・論文**

- 就学前から1年生のひらがなの土台づくり(深川美也子2021)
- 幼児の音韻意識の発達とひらがな読み習得の関係(深川美也2017)
- 健常児における音韻意識の発達(原恵子 2001)
- 小学生の読みにおける音韻処理の発達の变化 —語彙判断・押韻判断における脳処理からの検討—(佐藤裕, 山根直人)
- 「心の理論」から学ぶ発達の基礎(子安増生)
- 社会心理学(池田輝一)
- 問い方始める発達心理学(坂上裕子 2014)
- 文部科学省 新学習指導要領解説 H29
- 挿絵 いらすとや 他